

# 下水道への紙オムツ受入に関する これまでの経緯

---

# 検討会開催までの経緯

## 下水道・LIFE・えんじん研究会（平成28年3月～10月に6回検討，同年12月に報告書を公表）

### ○趣旨

近い将来迎える超高齢社会においても、すべての人が快適で環境に配慮した暮らし方ができる環境づくりをめざして、生活に密着した視点から、叶えたい未来のライフスタイルとそれを支える住まいや下水道の形について考える。

### ○メンバー

住宅・下水道及びその関連設備に関わる女性のメンバー

### ○検討内容

- 住まい+下水道システムは超高齢社会をどう支えるか
- 提案の社会的意義について（プラス面、マイナス面の整理）

### ○検討概要

「住まいの中の『水回り』から下水道までの1つのシステムとして捉え直すことで、超高齢社会にフィットする新しいライフスタイルが可能になるのではないか。」という仮説をベースに、未来のライフスタイルとして「オムツをトイレ・下水道を通して回収し、下水処理場でエネルギーとして取り出す」というシステムを提案。その提案の社会的意義、システムの可能性と課題について整理。

## 新下水道ビジョン加速戦略～実現加速へのスパイラルアップ～（平成29年4月～7月に検討会を5回開催，同年8月に公表）

### ○趣旨

「新下水道ビジョン」の実現加速のため、社会情勢等を踏まえ、選択と集中により国が5年程度で実施すべき8つの重点項目及び基本的な施策をとりまとめる。

### ○メンバー

国土交通省水管理・国土保全局下水道部内に学識経験者5名から成る「新下水道ビジョン加速戦略検討会」を設置

### ○検討内容

8つの重点項目（Ⅰ 官民連携の推進，Ⅱ 下水道の活用による付加価値向上，Ⅲ 汚水処理システムの最適化，Ⅳ マネジメントサイクルの確立，Ⅴ 水インフラ輸出の促進，Ⅵ 防災・減災の推進，Ⅶ ニーズに適合した下水道産業の育成，Ⅷ 国民への発信）の方向性と主要施策がとりまとめられ、重点項目Ⅱの主要施策の一つ「住民の生活利便性の向上」として「下水道へのオムツの受入検討」（ディスプレイの活用及び下水道へのオムツ受入れ可能性の検討）が掲げられた。